

令和 3 年度  
施政方針及び当初予算提案説明

令和 3 年 2 月 2 2 日

桶川市



令和3年桶川市議会第1回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和3年度予算案及び主要施策の概要を御説明申し上げます。

## 【 はじめに 】

平成25年4月、多くの市民の皆様からの御期待と御支援を賜り、市長に就任し、平成29年には、再び市長として市政を担ってまいりました。この間、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を掲げ、更に便利で安心して暮らせるまちを目指して、スピード感を持って市政運営に全力で取り組んでまいりました。私なりには、この8年間で一定の成果を残すことができたと認識しております。これもひとえに、多くの市民の皆様や議会の皆様の市政に対する深い御理解と御協力、そして、職員の不断の努力の賜物であると痛感いたしておるところでございます。こうした多くの皆様のご尽力に対し、改めて心より感謝申し上げます。

さて、本市の財政状況につきましては、社会保障経費や市債の償還などの義務的経費が今後も増加していき、さらには、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税等の収入が減少していく見込みであり、過去に例のない極めて厳しい時代を迎えております。

このような厳しい財政状況の中でも、ごみ処理施設の整備など喫緊に取り組まなければならない課題の解決や、駅東口整備、道の駅整備、企業誘致などの将来に向けたまちづくりをスピード感をもって適確に進めるとともに、少子高齢化社会に向けた子育て支援や高齢者及び障害者福祉のより一層の充実を図り、持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。

今後の市政の運営に当たりましては、中長期的な視点を持ちながらも激変する社会情勢に柔軟に対応しながら、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」に今後も引き続き職員一丸となって取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民の皆様への御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

## 【 市政運営に対する基本的な考え方 】

それでは、市政運営に関する基本的な考え方につきまして、順次申し上げます。

令和3年度の市政の運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、ポストコロナ時代を見据え、新しい生活様式に合わせた施策を実施していく必要があります。

市の最上位計画である「桶川市第五次総合振興計画」の計画期間は令和2年度で終了いたしますが、この度のコロナ禍により令和3年度においては、現計画の考え方（理念）を踏襲し事業に取り組むとともに、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け、必要な施策をスピード感を持って展開してまいります。

当初予算の編成に当たりましては、「桶川市第五次総合振興計画」の考え方（理念）を基本とし、ポストコロナ時代を見据え、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、優先的に予算措置を講じるものでございます。

それでは、5つの分野の主な事業について御説明申し上げます。

はじめに、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」でございます。

市民の安全を確保するため、上日出谷南2号調整池の整備や農業センターの耐震改修など、災害に対して安心で安全な基盤づくりに取り組んでまいります。また、交通の利便性と安全性の向上を図るため、未就学児安全対策事業や、下日出谷地区の生活道路における歩行者等安全対策事業（ゾーン30）に取り組むなど、安心安全で利便性の高いまちづくりを推進してまいります。

次に、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」でございます。

子育てを支援するため、小児用インフルエンザ予防接種費用に対する助成対象年齢の拡大など、引き続き安心して子育てができる環境づくり

に取り組んでまいります。また、小・中学校におきましては、「G I G Aスクール構想」に基づく、1人1台端末を児童生徒が有効活用できるよう、I C T支援員を配置してまいります。さらに、「地域とともにある学校づくり」を目指したコミュニティ・スクールを全小・中学校に導入するなど、こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりを推進してまいります。

次に、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」でございませう。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援するため、居宅サービス利用軽減事業、高齢者安心ネットワーク事業、緊急通報システム事業、地域ふれあい事業、地域支え合い事業、高齢者等おむつ助成事業など、様々な在宅福祉サービス事業を引き続き実施してまいります。また、健康づくりや介護予防を図るため、通いの場における100歳体操の支援や健康長寿いきいきポイント事業など、これまで実施してきた各種事業の取組を引き続き進めてまいります。さらに、新たな活動拠点として地域福祉活動センターのリニューアルなど、高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」でございませう。

コミュニティ活動の活性化を図るため、集会施設の整備に対しまして補助金を交付いたします。また、7月8日に中山道を通る東京2020オリンピック競技大会の聖火リレーや11月に行われる埼玉県レクリエーション大会が本市で開催されることから、そうしたイベントを通じて桶川市の魅力を発信しにぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりを推進してまいります。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を延期いたしました市制施行50周年記念式典を行います。

次に、「新たな時代に向けたまちづくりの推進」でございませう。

「桶川市第五次総合振興計画」につきましては、社会環境が大きく変化する中、ポストコロナ時代を見据えた持続可能なまちづくりを推進するため、次期計画の策定を行います。また、駅東口整備事業につきましては、仮設自動車送迎場拡張工事や南小跡地周辺道路整備のための測量

を実施し、道の駅推進事業につきましては、整備事業者の選定業務を実施し令和6年度中の開業を目指してまいります。さらには、圏央道IC周辺地区につきましては、引き続き企業誘致を進めるなど新たな時代に向けたまちづくりを推進してまいります。

## 【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和3年度予算編成に当たりましたの基本的な考え方を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行は世界規模で拡大し、我が国でもこれまで経験のしたことのない国難ともいえるべき局面に直面しております。人々の生活や社会経済など様々な分野に甚大な影響を及ぼし、雇用情勢なども極めて厳しい状況にあります。

こうした中で編成された国の令和3年度一般会計予算案は、前年度比3.8%増の106兆6,097億円となり9年連続で過去最大規模となりました。

地方自治体の予算編成の指針となる地方財政計画においては、新型コロナウイルス感染症の影響により地方税収が大幅な減収となる中、地方が安定した行政サービスを提供しつつ、防災・減災、国土強靱化の推進などの重要課題に取り組めるよう、一般財源総額は、実質前年度を上回る額が確保されたところでございます。歳入につきましては、地方税や地方譲与税が減少する一方で、地方交付税や臨時財政対策債が増加いたしました。また、歳出につきましては、地方が幅広い施策に自主的・主体的に取り組むことができるよう所要の経費を措置するなど、地方一般歳出は前年度とほぼ同額の75兆円程度とされたところでございます。

このような社会情勢の中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入は前年度比較で3.3%の減額を見込んでいるところでございます。一方で、歳出につきましては、高齢化等を背景とする社会保障経費や市債の償還などの義務的経費の増加、高度経済成長期に整備された公共施設の維持改修や更新に要する経費の増加など、行政需要の増大により極めて厳しい財政状況にあります。

こうした状況にあっても、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を

推進するため、将来への投資を行いつつ、こどもから高齢者まで多くの市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

### 【 令和 3 年度予算案の概要 】

令和 3 年度の予算案は、これまで申し上げました考え方に立って編成いたしましたもので、その規模は、

一 般 会 計	2 3 9 億 9 , 4 0 0 万 円	(前年度比 2 . 5 % 減)
国民健康保険特別会計	7 3 億 6 , 1 0 0 万 円	(前年度比 0 . 2 % 減)
介護保険特別会計	5 9 億 2 , 8 0 0 万 円	(前年度比 4 . 6 % 増)
後期高齢者医療特別会計	1 1 億 3 , 8 0 0 万 円	(前年度比 0 . 8 % 増)
公共下水道事業会計	1 4 億 8 , 2 6 1 万 4 千 円	(前年度比 3 . 8 % 増)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきまして御説明申し上げます。  
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和 2 年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比 3 . 3 % 減の 1 0 0 億 2 , 0 6 3 万 4 千 円を計上しております。

地方譲与税から地方特例交付金までにつきましては、国から示される地方財政計画や過去の実績を勘案しそれぞれ計上いたしました。

地方交付税につきましては、令和 2 年度の決算見込額をベースに、地方財政計画を参考といたしまして、前年度比 1 2 . 4 % 増の 2 4 億 5 , 0 0 0 万 円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、学校施設環境改善交付金の皆減などに伴

いまして、前年度比7.3%減の37億5,943万5千円を計上いたしました。

県支出金につきましては、国勢調査委託金の皆減などに伴いまして、前年度比0.8%減の17億2,916万3千円を計上いたしました。

寄附金につきましては、坂田西特定土地区画整理組合が解散することによる一般寄附金の増額などに伴いまして、前年度比473.7%増の8,606万円を計上いたしました。

繰入金につきましては、減債基金繰入金の皆減などに伴いまして、前年度比26.5%減の8億2,476万円を計上いたしました。

市債につきましては、学校老朽化対策事業債や放課後児童クラブ整備事業債の皆減などに伴いまして、前年度比2.6%減の21億6,300万円を計上いたしました。なお、地方交付税の代替であります臨時財政対策債は、地方財政計画などを参考といたしまして、前年度比72.4%増の15億円と見込んでおります。また、普通建設事業に充当しますその他の市債につきましては、後年度の財政負担に留意しながら、見込み得る額をそれぞれ計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第五次総合振興計画」における施策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要を御説明申し上げます。

## 1 だれもが主役の桶川をつくる 【参画・協働】

市民と市が協働してまちづくりを推進するため、桶川市協働推進条例に基づき、市民の参画による更なる協働の推進と、だれもが主役の桶川のまちづくりに取り組んでまいります。

はじめに、桶川市市民活動サポートセンターにおきましては、NPOやボランティア活動の支援を行い、平成31年4月に開館した坂田コミュニティセンターにつきましては、市民の交流や活動の場として活用し、コミュニティの醸成を図ってまいります。また、町会・自治会活動等につきましては、補助金の交付や相談事業を実施し、

引き続き地域の自主的な活動を支援してまいります。

次に、男女共同参画の推進につきましては、「第四次桶川市男女共同参画基本計画」を着実に推進するため、市民や関係機関との連携を図りながら、審議会等への女性の積極的な参画の推進や男女共同参画コーナー「アソシエ」の利用促進を図り、計画の将来像である「だれもが多様な生き方を認め合い男女<sup>ひと</sup>がかがやくまち おけがわ」の実現を目指してまいります。

## 2 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる

### 【教育・文化】

次の時代の担い手である小さな子どもから高齢者まで、あらゆる世代が生きる力を育み、次代に繋げる桶川をつくるため、教育、文化芸術、生涯学習、生涯スポーツの振興、充実に努めてまいります。また、小・中学校の教育につきましては、児童生徒が「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を身につけ、「生きる力」を育むことを目指した教育の更なる充実に力を入れてまいります。

はじめに、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づく、1人1台端末を児童生徒が有効活用できるよう、市内の小・中学校及び教育センターにICT支援員を配置し授業のサポートをするなど児童生徒を支援してまいります。

次に、教育相談事業につきましては、スマイル相談員を5名増員し、市内小学校全校に配置してまいります。中学校のさわやか相談員と合わせ、児童生徒及び保護者が身近に相談できる環境をつくり、教育相談体制の充実に努めてまいります。

次に、中学校の水泳授業につきましては、生徒の水泳技術の向上や長期的なプール維持管理経費の削減及び安定的な授業実施を目指して、民間事業者の施設を利用した授業を試行的に実施してまいります。

次に、コミュニティ・スクール事業につきましては、令和元年度より、市内小・中学校において順次導入してまいりましたが、令和3年度は、市内すべての小・中学校に「学校運営協議会」を設置し、「コミュニテ

ィ・スクール」として、学校と地域・保護者が連携・協働した「地域とともにある学校づくり」を目指してまいります。

次に、東京2020聖火リレー事業につきましては、昨年延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催に際して、中山道を聖火が通過することを通して、多くの市民にオリンピック・パラリンピックを広めるとともに、生涯スポーツの更なる推進を図ってまいります。また、埼玉県レクリエーション大会につきましては、毎年県内の自治体を会場として開催されている大会が、令和3年度は本市で開催され、レクリエーション関係団体による種目別交歓会などが、市内の公共施設で行われます。

次に、文化芸術の振興につきましては、市役所1階の市民ギャラリーの活用や、市民の手づくりによる「おけがわ市民芸術文化祭」の開催等、自主的で独創的な文化活動への支援をしてまいります。また、文化財の保存・活用につきましては、本市の優れた文化財を次代へと引き継ぐために、調査や指定などの保護施策及び文化財保護の啓発を行うとともに、市内に存する文化財の積極的な活用を図ってまいります。

### 3 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる 【健康・福祉】

桶川市で生活する誰もが、日々を安心していきいきと暮らすことのできる基盤を作るため、健康づくりへの支援、保健・医療体制の充実、子育て支援、高齢者の介護予防、障害のある人の生活支援の充実など、住み慣れた地域で共に支え合い、住み続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、子育て支援の充実につきましては、子育て世代の経済的負担の軽減とインフルエンザ感染予防及び重症化を防ぐため、インフルエンザ予防接種費用の助成対象年齢を小学3年生までに拡充いたします。さらに、少しでも安心して高校受験を迎えることができるよう、高校受験を控えた中学3年生を新たな対象とし助成してまいります。また、放課後児童クラブにつきましては、保護者が就労等により家庭にいないこ

とが常態である児童の健全な育成を図るため、公営放課後児童クラブの運営及び民営放課後児童クラブへの支援を行ってまいります。

次に、高齢者施策の充実につきましては、認知症の方や認知症が疑われる方が適切な医療・介護サービスを受けられるよう、引き続き認知症初期集中支援チームによる支援をしてまいります。また、地域密着型サービスの充実を図るため、認知症高齢者グループホームの整備費用に対し助成してまいります。さらに、介護保険サービスにつきましては、介護予防・生活支援サービス事業を充実させ、一般介護予防事業としては、住民運営による通いの場づくりを支援するため、引き続きリハビリテーション専門職の派遣や運営費等の補助などを実施してまいります。

次に、障害者福祉につきましては、障害者が地域で暮らすために必要なサービスの給付及び総合的、専門的な相談など、引き続き障害特性や生活状況の変化に応じた支援を行ってまいります。また、在宅の重度障害者及び重度障害児を対象に実施しております福祉タクシー等事業につきましては、18歳以下等に実施しているタクシー券と燃料券との選択制を、全ての対象者に拡大し、障害者等の外出を支援してまいります。

次に、地域福祉につきましては、施設の老朽化に伴い地域福祉活動センターの大規模改修を実施し、新たな活動拠点としてリニューアルすることで、更なる地域福祉の増進を図ってまいります。

次に、生活困窮者自立支援につきましては、安心して暮らせる社会を作るために引き続き事業を実施してまいります。また、自立に向けた生活支援につきましては、保護世帯の生活相談及び就労支援、更には健康管理支援の充実を図り、保護からの早期自立に向けて支援してまいります。

次に、自殺対策につきましては、弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士等による総合相談会を開催し、「経済・生活問題」や「不眠など、こころの健康問題」等の複数の悩みを抱える市民に対して、ワンストップで適切な相談支援を行い、自殺予防を図ってまいります。

## 4 環境にやさしく安心・安全に住み続けられる

### 桶川をつくる

### 【市民生活】

地球温暖化など深刻化する環境問題に配慮した、省エネルギーやごみの減量化に努めるライフスタイルを推進し、誰もが快適に暮らすことができるまちづくりを推進してまいります。また、防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実を図り、市民一人ひとりの生命と財産が守られ、安心・安全な生活環境を確保することにより、心穏やかに暮らせるまちづくりを推進してまいります。

はじめに、地球温暖化対策につきましては、環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進に向け、住宅用新・省エネルギー機器の設置に対する支援をしてまいります。

次に、ごみ処理施設につきましては、埼玉中部資源循環組合の解散後、あらゆる可能性を検討してまいりましたが、今後も引き続き新施設の整備に向け取り組んでまいります。また、さらなるごみの減量化を目指すとともに、安定的なごみ処理に努めてまいります。

次に、防災対策につきましては、災害時において自主防災組織等に避難情報を迅速に伝達し、地域住民が適切に避難できるよう、災害時等情報伝達システムを導入するとともに、災害用備蓄品等を更新し、コロナ禍における避難所開設に対応した防災設備・物資の充実を図ってまいります。また、消防団につきましては、団員の確保及び女性団員の登用に努め、消防団の充実強化を図ってまいります。

次に、交通安全対策につきましては、道路照明灯をLED化するとともに、下日出谷地区の西小学校周辺においてゾーン30事業を実施し、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保してまいります。また、市内循環バスにつきましては、引き続き試験運行を実施し、本格運行に向け利用者のニーズにあわせた利便性の向上を図ってまいります。

次に、消費者行政につきましては、桶川市消費生活センターにおいて市民からの相談に応じて問題解決に向けた支援を行うほか、消費者安全確保地域協議会を運営するなど、行政と地域との連携による消費者の見守りを行うてまいります。

## 5 みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる

### 【みどり・都市基盤】

魅力ある中心市街地の形成や、圏央道をはじめとする広域幹線道路網等の交通利便性をいかした、活力あるまちづくりを推進するとともに、より安心して安全に暮らせる住環境の整備を行い、人にやさしい、みどり豊かで快適な、歩いて暮らせるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、土地区画整理事業につきましては、坂田西地区では昨年12月18日に埼玉県より組合解散認可が承認され、清算法人に移行したことから、来年度の事業結了に向け、引き続き清算事務などの支援をしてまいります。また、下日出谷東地区及び上日出谷南地区では、令和3年度中の換地処分に向けて関係機関との調整を行うとともに、組合事業が円滑に進められるよう支援してまいります。さらに、上日出谷南地区では、引き続き調整池の整備を実施し、令和4年度の完了を目指してまいります。

次に、公共下水道事業につきましては、引き続き下日出谷字高井地区の管渠<sup>きよ</sup>整備を実施するとともに、駅東口整備事業の進捗に合わせて駅東口の管渠<sup>きよ</sup>整備を進めてまいります。また、持続的な下水道機能確保のため、公共下水道施設の適切な維持管理に努めてまいります。

次に、駅東口整備事業につきましては、駅東口駅前広場整備のため、仮設自動車送迎場の拡張工事及び無電柱化に向けた設計を行ってまいります。また、市道11-1号線と仲仙道線の交差点付近の拡幅整備のため、引き続き用地の取得を推進してまいります。さらに、南小跡地周辺道路整備のため測量を行ってまいります。

次に、市道の維持管理につきましては、道路の舗装修繕及び長寿命化修繕計画に基づく橋りょう修繕を実施するとともに、狭あい道路の整備を推進し、身近な生活道路の利便性や交通安全の向上に努めてまいります。

次に、一級河川江川につきましては、早期改修を図るため、引き続き、国、県へ強く要望するとともに、現在、上流域で河川管理者の埼玉県が進めている調節池の整備事業に協力し、早期改修を目指してまいります。

次に、憩いの自然空間の保全と活用につきましては、「緑のまちづく

り基本計画」に基づき、保存樹林・保存樹木の指定及び市民緑地の保全に努めてまいります。

次に、公園につきましては、利用される皆様が安心して憩い、集えるよう、既存公園施設の維持・保全及び改善に取り組んでまいります。

## 6 にぎわいと活力ある桶川をつくる 【産業】

地域の特性を生かした農業、商工業、観光事業をはじめとする産業の振興や、雇用の場の創出とともに、活力とにぎわいのある都市づくりを進めてまいります。

はじめに、企業誘致の推進につきましては、支援を続けておりました加納原地区において、大型物流倉庫が完成いたしました。本年2月から順次、操業を開始し、7月からの完全稼働を目指しております。また、桶川北本IC周辺地区につきましては、交通利便性をいかした、産業誘致の実現に向け、地権者協議会や事業者と相互に協力してまいります。

次に、道の駅推進事業につきましては、設計・工事・維持管理・運営を一括して行う事業者の選定に向け実施方針を公表し、引き続き道路管理者である国と連携を図りながら令和6年度中の開業を目指してまいります。

次に、農業の振興につきましては、地域として取り組む農地環境保全活動への支援などを行い、農業の活性化に努めるとともに、地域の担い手の利用集積の一層の促進を図り、引き続き耕作放棄地の解消に努めてまいります。また、農業振興施設である農業センターにつきましては、耐震化及びバリアフリー化を含めたりニューアルに向け、改修工事を実施してまいります。

次に、商工業の振興につきましては、空き店舗に新たに出店する事業者に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを行ってまいります。

次に、観光の推進につきましては、観光ガイドブック「桶川じゃらん」や「英語版観光ガイドマップ」等を活用し、観光協会と連携しながら、本市のPRに努めてまいります。また、べに花等の花を活用したまちづ

くりを進める「べに花の郷づくり推進協議会」や「べに花生産組合」、  
「花でもてなすまちづくり実行委員会」への支援を引き続き行ってまい  
ります。

## 7 計画的で将来を見据えた桶川をつくる

### 【行財政運営】

本市の財政運営は、高齢化を背景とした社会保障経費などの義務的経費や老朽化した施設の維持、更新に要する経費の増加に加え、ごみ処理施設の整備などの新たな行政需要が生じるなど、歳出増は避けては通れない状況にあります。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行や人口減少社会の進展に伴う市税等の収入は減少していく見込みであり、極めて厳しい状況が続くことが想定されます。そのため、業務の効率化や歳入歳出両面の見直しを進めるとともに、行政課題に的確に対応できる人材の育成にも取り組みながら、計画的で将来を見据えた持続可能な行財政運営に努めてまいります。

はじめに、計画行政の推進につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、過去に例のない速さで社会環境が変化するなか、市民の命と健康、そして地域経済の段階的な回復に重きを置きつつ、ポストコロナ時代を見据えたまちづくりと行政運営に向け、総合的な市政運営のための指針となる次期総合振興計画の策定に取り組みます。

また、より効率的で市民満足度の高い行政サービスを展開するため、時代に即した柔軟な行政組織体制の整備を図るとともに、社会経済情勢の変化を踏まえ、これからの時代に求められるフレキシブルな働き方に対応できる職場環境の整備や職員研修の実施により、業務の効率化及び職員のワーク・ライフ・バランスの充実に努めてまいります。

次に、情報共有の推進につきましては、開かれた市政の実現のため、市民の身近な情報源として、広報紙や公式ホームページの更なる充実を図るとともに、SNSなど多様な方法を活用した情報発信に努めてまいります。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和3年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、令和3年度も「桶川市第五次総合振興計画」の将来都市像である「みんなでつくり育む活気あふれる交流拠点都市おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいり所存でございますので、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、市政に対します、より一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。

